

住んでもらえる、選んでもらえる 街づくりの実現に向けて

京王グループでは、SDGs(持続可能な開発目標)の考え方を取り入れ、京王グループ理念のもと、事業活動を通じてお客様のより良い暮らしを創造していくことにより、社会課題の解決や、地域の発展と幸せな暮らしの実現に貢献していくことを目指しています。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

SDGs(Sustainable Development Goals)は、持続可能な世界を実現するために、2015年に国連で採択された2030年に向けた開発目標です。

京王グループのSDGsトピックス

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



「安全性の向上」によりお客様に「安心」を

最高のサービスである安全性の確保と輸送サービスのさらなる快適性の追求に向けてこれからも推進し続けていきます。

京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業

事業主体の東京都と協力し進めている、京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の完成により、25カ所の踏切が廃止されるとともに、鉄道により分断されていた地域の一体化が図られます。また、都市計画道路や駅前広場などが整備され、鉄道とバスなど交通機関相互の乗り継ぎ利便性が向上するなど、地域社会の発展に貢献していきます。



明大前駅の外観デザイン


ホームドアの設置

お客様のホームからの転落やホーム上での列車との接触事故を未然に防止するため、ホームドアを設置しています。2019年度まで、7駅に設置し、今後は明大前駅、下北沢駅においても整備を計画しています。



飛田給駅に設置されたホームドア

8 働きがいも
経済成長も



仕事・子育ての支援

保育事業やサテライトオフィス運営により、
子育てしやすい環境づくりや職住近接の実現を推進しています。

京王子育てサポートが運営する保育所「京王キッズプラッツ」を沿線に9カ所開設し、仕事と子育ての両立を支援しています。また、京王プラザホテル多摩2階に会員制サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」を開業し、職住近接の実現、働き方改革を推進し、多様な方々にご利用いただいています。



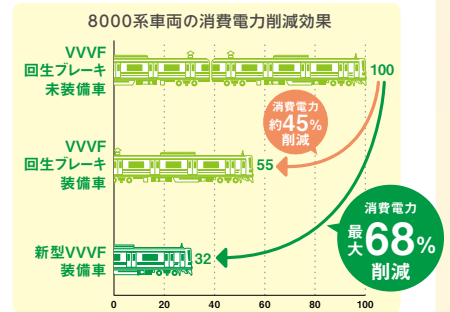
7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



環境にやさしい鉄道を目指して

鉄道事業は1年を通じて多くの電力を消費することから、
省エネルギー化を推進しCO₂排出量の抑制に取り組んでいます。

電車の加速力や速度などに応じて電圧や周波数を変化させながらモーターを効率良く動かす「VVVFインバータ制御装置」を導入しています。2012年には京王線・井の頭線全営業車両のVVVFインバータ制御化を大手民鉄で初めて完了しました。2015年から、さらに消費電力削減効果に優れたVVVFインバータ制御装置への更新を進めています。



※横軸は未装備車の使用電力量を100とした場合の数値

12 つくる責任
つかう責任



限りある資源の有効活用

省エネやCO₂排出の抑制、省廃棄物など地球環境へ
配慮するとともに、限りある資源の有効活用に取り組めます。

既存建物を再生し、魅力ある住宅を供給するリビタのリノベーション事業は、限られた資源を有効に使い、CO₂排出を抑制する環境にやさしい手法です。2019年9月にオープンした「KIRO 広島 by THE SHARE HOTELS」は、既存物件に残っていた屋内プールを活用しバーラウンジやシェアキッチンなど、地域住民と観光客が交流できる、街に開かれたシェアスペースとしています。



KIRO 広島 by THE SHARE HOTELS

13 気候変動に
具体的な対策を



気候変動への対応

現在生じている、または将来懸念される気候変動の影響に備えて
リスクを回避・軽減し、事業の継続性を高めています。

自然災害に早期に対応するため、沿線に地震計、風速計、雨量計、水位計を設置しており、運輸指令所をはじめとする各鉄道現業施設において、24時間体制で監視しています。

また、大雨などによる当社施設の被害を軽減すべく、高尾線では土砂崩壊対策として線路脇斜面の改修工事を継続的に進めています。



法面改修(北野駅～京王片倉駅間)